

第2回ボッチャ渋谷カップ競技規則

第1条 原則

本規則に定める各項及びそれ以外は、開催年度の日本ボッチャ協会競技規則を準用する。

第2条 競技場

2-1 競技場の条件

コートは表面が平坦で滑らかでなければならない。また、表面は清潔であること。表面を損なういかなるもの（例えば、粉末のようなもの）も使用してはならない。

2-2 コート

- (1) 予選リーグのコートの寸法は、8.25m×4mとする。
- (2) 決勝トーナメントのコートの寸法は、12.5m×6mとする。
- (3) ターゲットボックスの内側の寸法は、25 cm×25 cmである。
- (4) すべてのコートのマーキングは、幅 1.9 cmから 7 cmの間のもので、容易に認識できるものでなければならない。

第3条 用具

3-1 ボール

- (1) ボールは、赤色ボール6個、青色ボール6個、白色の目標球（以下、ジャックボールという）1個で構成される。
- (2) 大会では、個人所有のボールを使用することができる。

3-2 投球補助具（ランプ）

投球補助具（以下、ランプという）は、選手が準備したものを使用することができる。

第4条 チーム

4-1 チーム編成

- (1) ボッチャの試合は、すべて性別、年齢、国籍、障がい、経験等の区別なく行われる。
- (2) 本大会の選手は、原則としてすべて区内在住・在勤・在学のいずれかに該当しなければならない。
- (3) アシスタントは、(2)の条件に該当しない。
- (4) チームの構成は3人から4人で1組とする。ただし、アシスタントはチーム人数に含まれない。
- (5) アシスタントは、選手1人につき1人までとする。

第5条 競技方法

5-1 試合形式

- (1) 試合は、32チームのリーグ戦で実施する。
- (2) 各リーグ総当たり戦で、1位が決勝トーナメント進出とする。
- (3) 勝敗が同じ場合は、以下の順によって順位を決定する。
 - ア 直接対決の結果による
 - イ 得失点差
 - ウ 総得点数
 - エ 抽選
- (4) 決勝トーナメントの対戦組み合わせは、主催者で決定する。

5-2 競技形式

- (1) ボールは、赤色ボール6個、青色ボール6個、白色の目標球（以下、ジャックボールという）1個で構成される。
- (2) ゲームは、1試合2エンドとする。
- (3) 代表者によるジャンケンで、先攻後攻を決定する。勝者はいずれか選択できるものとする。
- (4) 先攻は赤色ボール、後攻は青色ボールを使用するものとする。
- (5) スローインボックスに入れる選手は1人までとする。ただし、アシスタントが必要な場合等、例外を除くものとする。

5-3 勝敗

- (1) 各エンドの得点を加算し、合計点がより多いチームの勝利とする。同点の場合は、コート中央のターゲットボックス中央にジャックボールを配置し、1球ずつ投球して、目標球により近いボールを投球した方を勝者とする（ファイナルショット制度）
- (2) 投球順序は、ファイナルショット制度前にジャンケンにより決められ、先に投球するチームのジャックボールが使用される。
- (3) ファイナルショットは、必ずキャプテン（代表者）となる選手が投球する。

5-4 その他

その他審判の指示に従って競技を行うこと。

第6条 表彰

成績の優秀な者及び敢闘賞を表彰する。